

阪神カウンセリング・ラボ ニュースレター

2016 7月号



良好な夫婦関係を維持するために（４）

男性は、古代から自分の家族や種族を守るために、客観的な分析能力を必要としてきました。長々としゃべる状況に浸っているようでは、瞬時に襲ってくる外敵や獣から家族やわが身を守ることはできません。情緒的に反応し、それに「共感」し、恐怖におののいている暇はないのです。男性は、恐怖や不安感を抑えて、とっさに冷静な判断と行動をとれるような脳の構造になっているのです。女性のように、脳梁が太く、左右の脳のつながりがよくなっていたのでは、瞬間に起きている危険に対応することに遅れが生じます。情緒的反応がしやすければ、まず恐怖と戦わなければなりません。その恐怖を感じにくくしておく方が、危険や攻撃に対応しやすいのです。男性の脳梁が細く前交連が小さいのは、女性を守り子どもを守り種族を守るためには、必然の結果と言えます。だから、男性は問題が発生すると、その問題をどう捉え、どのようにしたらよいかを考えることが習性になっています。ここに、男性は女性の期待に反する反応をし、女性は「この人私のこと全くわかっていないし、分かろうともしない。」と落胆と怒りを発生させる原因があるのです。

受講生募集！

場所：梅田相談室
料金：4,000円(税込)

平成28年5月～平成28年10月

アサーション・トレーニング 理論編

7月 3日(日) 13:00～14:30

⑤日頃の考え方とアサーション

7月 24日(日) 13:00～14:30

⑥非合理的思い込みとは



アサーション・トレーニング 実践編 8

7月 10日(日) 13:00～14:30

○内容 アサーティブなコミュニケーション
(聴く 1-①)

マインドフルネス スキル トレーニング

7月 16日(土) 10:30～12:00

第1回 基本的なトレーニング

マインドフルネス スキル トレーニング 実践編

7月 16日(土) 14:00～14:50

盛り塩の意味

阪神カウンセリング・ラボ梅田相談室の玄関の両サイドに、小さな皿に盛り塩があることに気づいておられる方は多いと思います。この盛り塩をみて、時々質問される方があります。「こういう仕事をしているから、変なものが侵入しないように、気をつけているのですかね？」と。変なものとは、悪い霊という事でしょうが、そうではありません。この盛り塩は、飲食店などにもみることができます。それらのお店がどのような意図でやっているかは不明ですが、おそらく同じ気持ちでしていることだと思います。それは、古代中国で、皇帝が、後宮四千人と言われた夜伽の姫を誰にするかという時に、いちいち選択していくのは面倒なので、牛舎に乗ってその牛が止まったところの姫の場所で夜伽をさせていました。それを知った賢い姫が、牛を自分の部屋の前で止まるために考えた智慧が、家の前に盛り塩をするという事でした。塩は牛の好物で、盛り塩のあるところで止まるのです。そこから、盛り塩が始まったという説があります。つまり盛り塩とは、そこでお客が留まるというありがたいものとして、飲食店などで行われるようになったのです。当相談室でも、たくさんの方に利用していただきたいとの思いで盛り塩をしています。

阪神カウンセリング・ラボ

<http://www.hanshin-cl.com/>
<http://www.wakaru-ha-kawaru.com/>

* 梅田相談室

〒530-0014
大阪市北区鶴野町4-11 朝日プラザ梅田9階910
Tel/Fax 06 - 6147 - 2533
E-mail hanshin-cl@star.ocn.ne.jp

* 明石相談室

〒673-0891
明石市大明石町1-7-4 白菊ランドビル512
Tel 078 - 917 - 6880

